

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

二十四節気、4月4日は「清明」。万物がすがすがしく明るく美しい頃。様々な花が咲き乱れ、お花見シーズンとなる頃です。暖かくなり、各地が観光シーズンを迎えます。今月のTogetherは、KBS創研グループ NPO法人ふるさと応援隊の取り組みをご紹介します。

株式会社 KBS 創研 営業支援部長 竹腰 幸司



京都大原地域の観光振興 ～観光資源の発掘からモニターツアー実施まで～

観光資源の商品化と流通支援を目的に活動しているNPO法人ふるさと応援隊では、昨年10月よりJTB西日本との協働で京都大原地域の観光振興業務に携わっております。京都大原地域は従来より三千院をはじめとする社寺仏閣の観光地としても知られていますが、この度の観光振興業務では、地元観光事業者の他に農業事業者なども加わって新たに発足した「京都大原まるごと委員会」の皆様と一緒に、新たな観光資源の発掘と商品化に取り組む事を目的にスタートしました。

私達が提案した観光コンセプト「大原 Style」



大原の美しい里山の暮らしそのものが観光資源



具体的な観光プログラムについて地域の方々と定期的に議論を重ねてきた

京都の中心部から北へ車でわずか30分。四方を山々に囲まれた小さな盆地に大原は位置します。前述のように大原は従来より三千院や寂光院などの天台宗系の寺院が並ぶ観光地として知られていますが、近年は野菜の生産地として評価が高まっている事や、ハーブ研究家のベニシアさん(※)の著書やテレビ番組が注目されるなど、新しい動きが見え隠れしています。そんな中、私達が提案した観光コンセプトが「大原 Style」。都市近郊でありながら出会える美しい里山の風景や、そこで暮らす人々との触れ合い、暮らしや日常を体験できるようなプログラムづくりです。昨年10月より地域の皆様と定期的に委員会を開催し、具体的にどのようなプログラムを提供できるか、議論を重ねて参りました。

※ベニシア・スタンリー・スミスさん

《1950年イギリス生まれ。96年に大原に移住してハーブガーデンを作り始め、手作りの暮らしを実践中。2007年3月「ベニシアのハーブ便り」～京都・大原の古民家暮らし～を出版。自然と調和した手作りのライフスタイルに多くの人が共感した。》

人気の朝市と大原野菜。都市近郊でできる農業体験

話し合いを進める中で、大原の新しい観光の中心として浮かび上がってきたのが「農のある暮らし」。大原では毎週日曜日に朝市があり、地元農家さんによる野菜の直売が行われます。朝市は新鮮な野菜を求めてやってきた多くの人で賑わい、市内の有名な飲食店の料理人達も買い付けに訪れます。一般的に野菜は厳しい環境下で育った方が美味しくなる(糖度が増す)と言われていますが、寒暖の差が激しい大原の里で育った野菜の評価は高く、料理人達にもファンが多いと聞きます。そんな大原野菜を実際に畑まで見に行き、まちの人に収穫してもらってはどうか? さらに採れたての野菜を試食してもらってはどうか? というアイデアの元、具体的な旅行ツアーとして『大原でふれ愛! 大原朝市と京野菜彩り体験』と題した日帰りモニターツアーを企画、先月30日に実施致しました。

モニターツアー『大原でふれ愛! 大原朝市と京野菜彩り体験』

今回のモニターツアーで題材とした野菜は「堀川ごぼう」です。堀川ごぼうは名前に「堀川」と付きますが、大原をはじめとする左京区でも盛んに生産されている伝統京野菜です。通常のごぼうに比べ太く、その見た目はまるで木の根っ子のようなです。今回のツアーでは、その堀川ごぼうがどのように生産されているか実際に畑まで見に行き、収穫を体験した後に、採れたてのごぼうを茹でて試食。さらには地元でも人気の飲食店にて、この日のために特別に考案頂いた堀川ごぼうを使ったランチメニューを召し上がって頂き、午後は歴史ガイドと巡る三千院散策などの5つのコースに分かれて大原の里を散策して頂くという内容です。

モニターツアーへ参加を呼びかけるチラシ



伝統京野菜「堀川ごぼう」

ツアー当日のようす

7:45	貸し切りバスにて京都駅を出発			
8:45	大原里の駅に到着。 毎週日曜日に開催されている朝市を見学し、新鮮野菜のお買い物をしました。		人気の朝市を見学。新鮮野菜が並ぶ。	
9:00	堀川ごぼうの収穫と試食体験を楽しみました。		雨が降るなか、堀川ごぼう畑へ。	
				
11:30	昼食 堀川ごぼうを使ったオリジナルランチメニューを堪能。		堀川ごぼうの巻き寿司と炊き合わせ	
				
12:50	5つのコースにわかれて大原の里を散策。 ①歴史ガイドと巡る三軒院散策 ②大原女変身体験と自由散策 ③寂光院の参拝と足湯カフェ ④ハーブせっけん手作り体験 ⑤草木染体験		地元の歴史ガイドさんの案内で雨上がりの寂光院を見学。	
				湯がきたての堀川ごぼうを試食。
				堀川ごぼうと菜の花の石窯ピザ
				ハーブを使った手づくり石鹸教室も好評だった。

■モニターツアーに参加されたお客様の声■

(アンケートより抜粋)

- 惟高親王のお墓は個人で大原に来たとしてもなかなか行けないような所にあったので、案内してもらえて良かった。
- 地元の方と実際にお話ができるのは、とても良かったです。なかなか回りにくい地域だと思いますので、今回のようにバスで連れて行って下さるのはとても助かります。
- 雨に降られた時の対応をもう少し考えてほしい。
⇒ 雨の対策と誘導に関する厳しいご意見も。今後の受け入れ体制を考える上では貴重なご意見です。

【モニターツアーを終えて】

ツアー当日の天気は、あいにくの雨。実際にごぼうの収穫体験ができるか心配されましたが、畑の入口までご案内してデモンストレーションを行うなど、地域の皆様にとっても当日の臨機応変な対応が求められました。参加されたお客様にとっては大変な部分もあったかと思いますが、体験型観光を行う際の受け入れ体制、リスク管理など身を持って経験をすることができましたので、モニターツアーの意義としては大きかったように思います。

午後になると少し小雨になって、参加者の方々も散策を楽しんでいらっしゃいました。積極的に地域ガイドの方々へ質問をしたりする光景も見られました。

今回のモニターツアーが、旅行者との触れ合いや、おもてなしを地域全体で考えていくきっかけとなれば嬉しいです！(竹腰)

○ NPO 法人ふるさと応援隊の取り組みをウェブで紹介しています <http://furusato-ouen.com/>

編集後記

春ですね。心も陽気もぽっかぽか。お出かけが楽しくなる季節がやってきました。遠出もいいですが、わがまち、ふるさとにも知らない場所や知ればもっと楽しくなる観光資源がたくさん眠っていますね。今回の Together で紹介されているツアーは、地域で自分たちが観光プログラムを作ろうという取り組み。旅がもっとわくわくしますね。(増田)

株式会社 K B S 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL:06-6423-5561/ FAX:06-6423-5571
東日本営業部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル3階 TEL:03-6453-9088/ FAX:03-6453-9089
＜関連会社＞ネクストサポート株式会社(事業再生コンサルティング)
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/ FAX:06-4707-3855
特定非営利活動法人 ふるさと応援隊(着地型観光支援事業)
〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町222番地京都市イノベーションオフィス内 TEL:070-6928-0602

- 代表取締役：小泉寿宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京